

家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439, 0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
<http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/>

H29(2017)6.7 発行 2017_No.1



人も家畜も快適に (*^。^*)

ストレスのない環境が生産力を高めます。



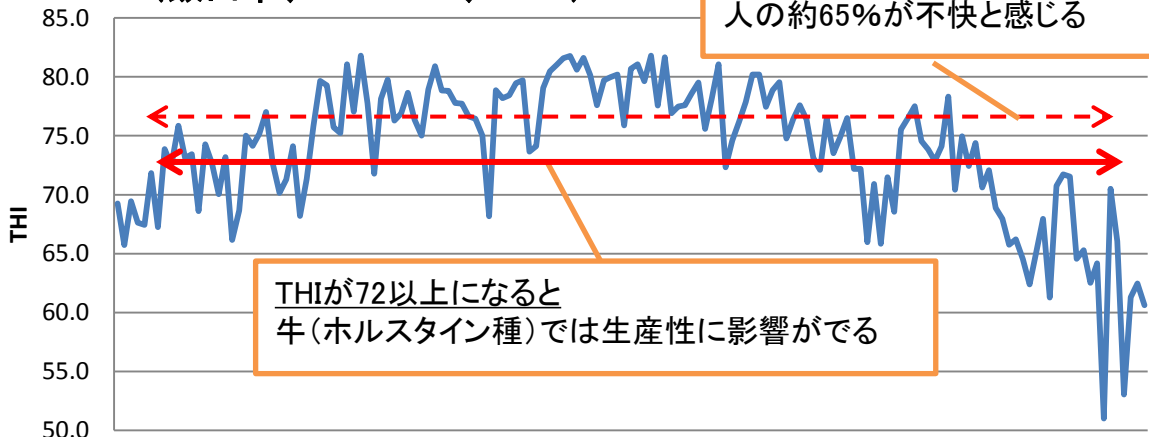
今年の夏も暑くなりそうです。暑熱対策をしっかりと！

対策のキーワードは？

- 【断】 寒冷紗、グリーンカーテン、屋根に散水・消石灰塗布、屋根裏に断熱材
- 【風】 トンネル換気、大型扇風機、冷風機、クーリング・パッド
- 【水】 新鮮で冷たい水、畜体に散水・散霧・細霧(送風とセット)
- 【空】 飼養密度の低減、きれいな床(こまめな清掃)
- 【時】 涼しい時間の給餌、ビタミン類・鶏では重曹(0.5~0.6%)添加

家畜の様子をよく観察し、速やかに対応策を取りましょう！

昨年夏の温湿度指数(THI)
(飯田市、2016.6-10、15:00)



6/1 6/8/6/156/226/297/67/137/207/278/38/108/178/248/319/79/149/219/2810/910/120/190/26

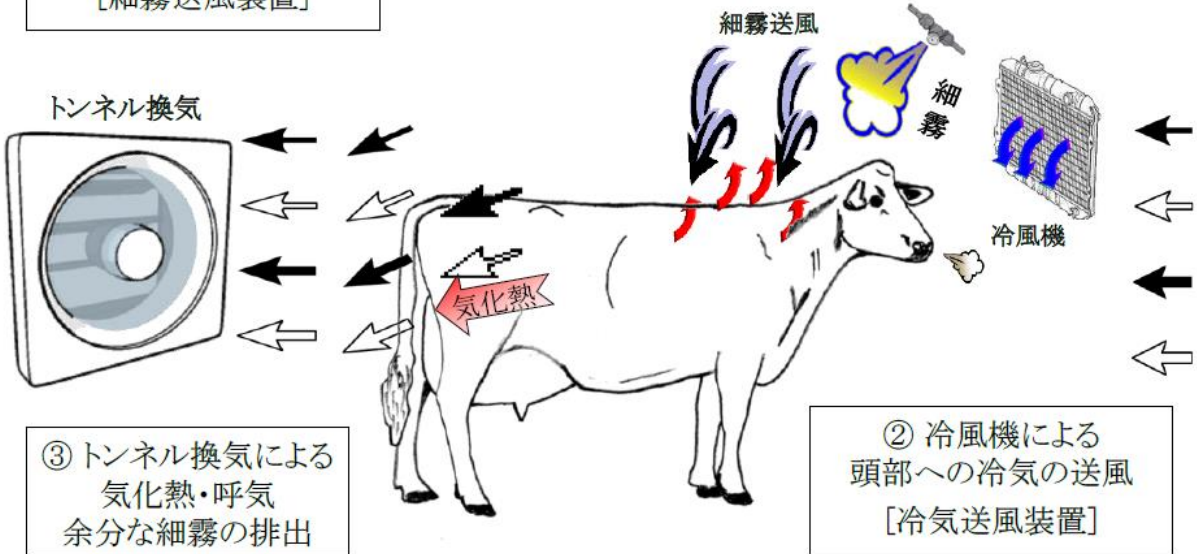
(畜種別の対策は裏面へ)

畜種別の対策例

《乳牛の暑熱対策システム》

- ① 細霧の吹付けと乾燥による気化冷却
[細霧送風装置]

長野県畜産試験場で開発したシステムです。
お問い合わせは、飯田家保または畜産試験場へ。



- ③ トンネル換気による気化熱・呼気余分な細霧の排出

(以下は、中央畜産会のリーフレット2016年度から引用)

牛舎屋根への石灰塗布



取組の概要

地域名 : 宮崎県
経営形態 : 肉用牛
飼養頭数 : 200頭

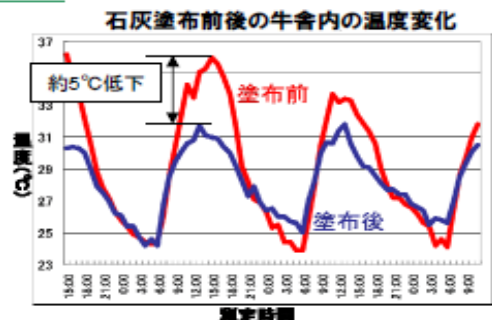


- 【塗布面積】 800m² (屋根材:ガルバリウム)
 【作業人数】 5名
 【材料】 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧機、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)
 【塗布方法】 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧機にて屋根へ散布する
 【作業時間】 3時間(実質塗布時間:2時間)
 【塗布面積あたりコスト】 33円/m²
 【注意点】 ① 石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる(電動ドリルで攪拌)
 ② 長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する

効果

- 屋根裏温度の変化 約 15℃低下
 ○牛舎内温度の変化 約 5℃低下

- ・夏場の採食量が増えた結果、枝肉重量が増加し、出荷成績の改善につながった
- ・夏場の飼養管理がしやすくなった



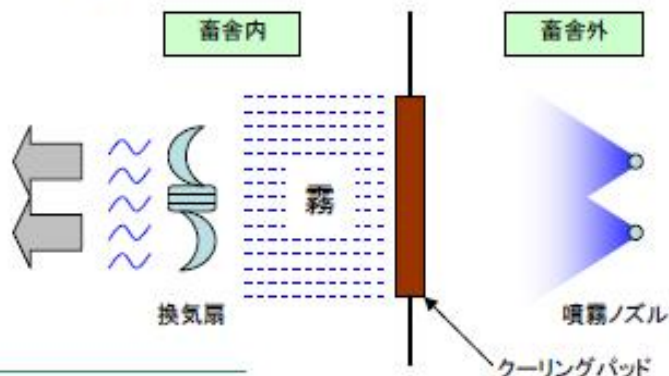
分娩豚舎へのクーリング・パッドの設置



取組の概要

地域名 : 愛知県
経営形態 : 養豚
飼養頭数 : 繁殖母豚350頭

- クーリング・パッドの外側に噴霧ノズルが付いており、畜舎内に設置した換気扇により、空気を引く。これによりパッドから抜けた霧が畜舎内に流入する(下図)。
- 噴霧ノズルは、12秒間噴射後、7秒間停止する間隙作動。
- クーリング・パッドは29℃で作動するようにセットされ、作動時間は午前9時から午後6時まで。
- 畜舎中央に順送ファンを設置し、排気口まで風量を維持する工夫。



効果

- パッド作動時の**畜舎内温度**は、外気温と比較し、入気側・排気側とも**平均4℃低かった**。

アカザを利用した鶏舎庇蔭(ひいん)



取組の概要

地域名 : 群馬県
経営形態 : 採卵鶏
飼養羽数 : 4,500羽

- 自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、すべての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植。
- アカザは成長が早く、夏期には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日陰ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易。
- 自生するアカザを用いるため、低コストで簡易。

【注意点】

鶏舎内の風通し確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。

効果

- 夏期の死亡羽数が激減
実施前(H19年)約700羽
→実施後(H20年)約40羽

